

冬の寒さも和らぎ、春の暖かさを感じる季節となりました。

本日は、新型コロナウイルスによる自粛の中、このような形となりましたが、卒業式・修了式を挙行していただき、誠にありがとうございます。私たちが今日この日を迎えられるのも、ひとえに先生方、関係者の皆様のご指導ご尽力のおかげと心より感謝いたしております。また、ご多忙の中、皆様のご臨席を賜り、卒業生・修了生一同心よりお礼申し上げます。

さて、私たちが新入生としてこの会場で顔を合わせたあの日、私達はこれから始まろうとする新しい生活に期待と不安で一杯でした。授業やサークル活動、海外留学など、未知な世界に足を踏み入れるのには勇気も必要でした。しかし、そんな不安はいつしかなくなり、今日まで有意義な時間を各々が過ごしてきたことと存じます。

勉学の面では、私たちの自主性を尊重する教育システムのもとで、積極的な姿勢をもつことの大切さや、自ら学ぶ楽しみを覚えるとともに、多様な学問分野に触れることができるカリキュラムによって、幅広い視野を身につけることができました。

私にとってのこの4年間は、新しい事に挑戦するチャンスをいただいた期間であったと思います。仲間たちとの日々の生活、ゼミでの発表や研究、アルバイトやインターンシップなど、数えきれない程の様々な経験の中で、時にはうまくいかず、道に迷い苦しむ事もありました。しかし、大学生活で学んだ知恵や技術を用いて、それらを乗り越える事は自分の成長に大きく繋がったと確信しています。また、その度に友人や先輩、先生方に助けられ、たくさんの方にお世話になった、そんな4年間でした。

そしてこの学生生活も終わりを迎え、今、新しい旅が始まろうとしています。

本日私たちは、広島市立大学を卒業します。これまで、たくさんの方々が私たちを支え、見守り続けて下さいました。今度は私たちが、この広島市立大学の卒業生として、各々の信じる道を真っ直ぐに駆け出し、未来を築いていきます。

最後になりましたが、今日まで数多くのご指導をくださいました先生方、また、さまざまな面で支えていただきました皆様に、重ねて心より御礼申し上げますとともに、広島市立大学のご健勝と、ますますのご発展をお祈りし、謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

広島市立大学卒業生総代 小早川美紀